

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

2 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	国語
グループ名、人数		7グループ 8名		担当教員	◎藤岡
ねらい		(1) 日本の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようになる。 (2) 自分の思いや考えを広げることができるようになる。 (3) 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	・漢字読み書き		○漢字や語句の読み書きをする。 ▲個々のレベルに合わせた漢字の読み書きができる。	・タブレット端末のアプリやワークシートを準備し、繰り返し練習する。 ・視聴覚教材を活用する。	
4	1年次の復習 文法(接続詞、主語・述語・修飾語)や敬語の理解	6	○3行程度の2文を接続詞を使いつなげる。 ▲文脈を理解して接続詞を適切に使う。 ○敬語を適切に使い分ける。 ▲場や相手に応じて敬語を使い分ける。	・ワークシートや視聴覚教材を活用する。	
5	作文・意見文を書く	5	○出来事や体育祭を振り返り、作文や意見文を書く。 ▲順序だてて、書くことができる。	・予め書きたい内容を、ワークシートにまとめるようにする。	
6	お礼状を書く	8	○時候の挨拶を知り、お礼状を書く。 ▲書き方のマナーに気を付けて、ボールペンで丁寧に書くことができる。	・ワークシートを用いて、様々な時候の挨拶を学べるようにする。	
7 9	本を読む 本の紹介 POP作り	13	○物語を読もう ○おすすめ本の紹介POPを作る。 ▲題名や作者名、おすすめする理由をまとめることができたか。	・生徒が興味をもちやすい題材を用意する。 ・作品例を提示する	
10	詩	8	○詩の朗読をする。詩を創る。 ▲テーマに沿って、自由な技法で詩を創ることができる。	・様々な詩を読みながら、詩の技法を学ぶ。	
11	新聞記事の読解	6	○新聞から興味のある記事を探して読む。 ▲漢字の読みを調べたり、記事の大まかな内容を読み取ったりすることができる。	・ワークシートに読み取る項目を示し、要点を意識しながら読むことができる。	
12	年賀状を書く	5	○送る相手を考え、年賀状を書く。 ▲年始のあいさつを知り、年賀状を書くことができる。	・文例を提示し、具体的なイメージがもてるようにする。	
1	書写 百人一首	7	○毛筆で文字を書き伝統文化に触れる。 ▲自分なりの文字を表現する。 ○百人一首を通し、和歌や日本の文化に親しむ。 ▲日本の伝統文化を知ることができる。	・書き順などを丁寧に伝える。 ・タブレット端末を活用する。	
2	ことわざ、慣用句	8	○ことわざや慣用句の意味や使い方を知る。 ▲ことわざや慣用句を使った文を作ることができる。	・プリントを用いて、使い方の例を学ぶことができるようにする。	
3	1年間のまとめ	4	○1年間の学習内容を総括する。 ▲学習したことを振り返り、印象に残った学習を具体的に発表することができる。	・学習ファイルを整理しながら、学習したことを振り返る。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	社会
グループ名、人数	7グループ 8名		担当教員	◎程田	
ねらい	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、社会参加するためのきまり、産業と情報との関わりについて、社会生活との関連を踏まえて理解する。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連を理解し、自分の生活と結び付けて考えることができる。またその上で社会への関わり方を自分から選択・判断することができる。</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができる。</p>				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	社会の移り変わり	3	<p>○通学区域 4 市の概要を学ぶ。(地図、市のシンボルや名産品、公共交通機関など)</p> <p>▲自分の住んでいる市について関心をもつ。</p>	<p>・写真などの視覚教材を用意し、学校周辺の歴史の移り変わりを分かりやすく説明する。</p>	
5	我が国の地理や歴史	4	<p>○日本の各地域の特色、文化、歴史について調べる。</p> <p>▲調べるにあたり、地図や ICT 機器を活用することができる。</p> <p>▲各地域の特徴とその理由について理解することができる。</p>	<p>・ICT 機器を活用できるように、手順をモニターで移すなど自発的に ICT 機器が利用できるように配慮する。</p>	
6	産業と生活	3	<p>○仕事の種類や必要性について考え、様々な業種が人々の生活を支えていることを学ぶ。</p> <p>○生産、消費などの経済活動について学ぶ。</p> <p>▲生産業やサービス業等の職業分類することができる。</p> <p>▲売る側と買う側の事を考え、ロールプレイをすることができる。</p> <p>▲生産、消費などの経済活動について理解できる。</p>	<p>・消費者、販売者双方の役を体験できるように、計画する。</p> <p>・生徒の身近な体験を題材にし関心をもたせる。</p>	
7	社会参加のきまり	4	<p>○社会生活に必要な決まりを学ぶ。</p> <p>▲記名投票と無記名投票である理由を理解できる。</p> <p>▲模擬選挙で実際に投票することができる。</p> <p>▲</p>	<p>・選挙のルールについて触れる。</p> <p>・実際に「みんなでやりたいこと」等、5つ程度の選択肢の中から投票によって決める。</p>	
9	日本の地形と災害	4	<p>○日本の地形と災害の種類や発生について学ぶ。</p> <p>▲自然災害に風水害があることを理解できる。</p>	<p>・ICT 機器を用い、映像にて日本の地形や災害の種類など映像等を使い指導する。</p>	

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	数学
グループ名、人数	7グループ 8名		担当教員	福田	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 (2) 日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学 (日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	いろいろな計算 電卓 数学ゲーム、パズル	通年	○四則計算・整数・少数 ▲個々の段階に応じた個別の課題に取り組む。 ○電卓の活用 ▲使い方や正確性の向上を目指す。 ○数学ゲーム、パズル ▲数学に関するゲームに興味をもち、友達と協力し、余暇に繋がること分かる。	・各自の段階に合わせた課題を用いる。 ・パズルやゲームなど興味をもちやすい題材を用いる。	
4 5	金銭の計算	13	○税率(消費税)の計算 ▲消費税の計算ができる。 ○収入と収支 ▲買い物など、身近な収支計算ができる。	・実際の金額でシミュレーションする。電卓を用いて計算できるようにする。	
6 7	図形	13	○平面図形と立体図形 ▲四角形や三角形などについて、角度などの特徴を理解する。 ▲正確に作図する。 ▲六面体や直角について理解を深める。	・特徴や違いを分かりやすく示す。 ・簡単な図形から作図に取り組む。 ・サイコロなど身近なものの展開図を用いる。	
9 10	表とグラフの作成 資料の整理と分析(データ整理)	13	○いろいろな表とグラフ ▲身近な表やグラフに関心をもち、作成することができる。 ○資料の読み方 ▲最大値や最小値など、簡単な分析ができる。	・ランキングや数値など身近で興味のある題材を用いる。 ・情報機器を活用し、調べながら学習を進める。	
11 12	時間と時間の管理	13	○時間の計算と予定の作成 ▲時間の計算ができる。見通しをもって予定を立てることができる。 ▲交通機関の時刻表を読み取り、計画を立てることができる。	・休日の予定や旅行など、身近な題材でシミュレーションし興味をもって取り組めるようにする。	
1 2 3	量と大きさ	18	○長さ、重さの測定 ▲測定方法及び測定時の注意点を理解した上で実際に測定できる。 ○単位の種類 ▲いろいろな単位が使われていることを理解する。	・長さや重さなどの身近な測定器具を用いる。 ・身長や体重など、身近なものに使われている単位を題材にする	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	理科
グループ名、人数		7グループ 8名		担当教員	◎野中
ねらい		(1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。			
年間授業時数		17 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10 11	動物の誕生	5	○動物の誕生(卵生、胎生) ▲生物の特徴を知り、分類ができるようになる。 ▲生物の発生の仕方を知る。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
12 1	植物の構造と機能	5	○植物の体のつくりと機能 ▲植物の体のつくりとそれぞれの機能について理解する。 ▲光合成、呼吸、蒸散など、植物の営みについて知る。	・実際の植物の観察、比較を行う。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
2	天気の変化	3	○雲の量や動きに着目して天気の変化と関連付ける。 ▲雲の量や動きなどで天気を予測できる。 ▲防災にもかかわることを知ることができる。	・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
3	地球の内部と地表面の変動	4	○地震と火山 ▲地震や火山による土地の変化を知る。 ▲地震や火山の被害について知る。 ▲防災にもかかわることを知ることができる。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・社会の防災にも関連付けて指導する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	音楽	
グループ名、人数	7・8グループ16名		担当教員	◎滑川		
ねらい	(1) 曲想や背景など音楽の多様性について理解するとともに、必要な音楽表現の技能(歌唱、器楽、創作等)を身に付ける。 (2) 音楽を自分なりに評価しながら、美しい曲や好きな曲を味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に取り組み、音楽文化を親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。					
年間授業時数	70 単位時間		使用教科書	くらしに役立つ音楽「東洋館出版社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫		
通年	発声練習 鑑賞「生演奏」 共通教材 「日本歌曲」 「世界の曲」	通年	○姿勢や発声法を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気付き、発声をする。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・発声のしやすいリズムや旋律を伴奏や模範歌唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。		
4	身体表現 「体育祭のダンス」	24	○教員を模倣し、振り付けを覚えて踊る。 ▲音楽を聴いて、自分なりに身体を動かそうとしている。	・教員が正面で踊り、模倣できるようにする。		
5	器楽 「和太鼓」		○伝統的な奏法で、間や序破急(速度の緩急、強弱)を表現する。 ▲伝統的な奏法を意識して演奏することができる。	・鉦や伴奏を活用し、リズムにのって演奏できるように支援する。		
6			歌唱	○曲想を考えてのびやかに歌う。 ▲曲想や強弱を意識して歌おうとしている。	・正面で手本を示し、歌詞に合わせて部分的に繰り返し練習する。	
7				○有音程の楽器と合わせ、打楽器等も活用し、アンサンブルをする。 ▲楽器の奏法を理解し、楽譜を見て自分で演奏することができる。 ○様々な国の音楽に触れ、様々な楽器の音色に親しむ。 ▲静かに鑑賞することができる。	・生徒の実態に合わせて色、表形式などの楽譜を使用する。 ・教員が生演奏を行い、静かに鑑賞する練習をする。 ・視聴覚機器を用いてイメージをもちやすくする。	
9	器楽 「合奏」	28	○リズムにのって歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・視聴覚機器で映像を使用し、合唱のイメージをつかみやすくする。		
10	鑑賞 「音楽鑑賞会」		歌唱・身体表現 「文化祭の歌・ダンス」	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。		
11	18			○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。		
12				「国歌」	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	18	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。			
2	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。					
3	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。					

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	美術
グループ名、人数	7・8グループ 16名		担当教員	◎坂尾 宮本	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルトレーニング	通年	○造形活動を生活の中で生かす。 ▲制作を介したコミュニケーションができる。 ○自己表現の体験を積み重ね、表出することに対する自信を高める。 ▲造形活動に主体的に取り組める ○自他の作品の良さや工夫に気付く。 ▲個々の作品の違いや良さを感ずることができる。	・造形活動を通して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7 9	オリエンテーション ポスターデザイン	4 8	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味関心をもち活動に主体的に参加できる。	・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。	
	絵画 構成	14	○日本の伝統美術から学ぶ。 ▲伝統絵画のモチーフや文様などの色や形に興味をもつことができる。 ○モダンテクニック等の技法を用いて制作をする。 ▲様々な表現や技法を取り入れ、工夫して制作することができる。	・実体験とつながる題材などを取り上げ、伝統美術への興味関心を高めながら制作できるようにする。	
10 11 12	文化祭に向けた 取り組み	14	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・仲間と協力して制作できるようにする。	
	絵画 デザイン	14	○暮らしを彩る季節の飾りを作る。 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。	・イメージできる映像や作品などを提示する。	
1 2 3	立体制作	16	○羊毛フェルトで立体作品を作る。 ▲素材を変化させられることに興味をもって取り組める。 ▲道具の使い方や制作方法を学び、主体的に制作できる。	・写真や具体的な見本を用い、分かりやすく伝える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	保健体育
グループ名、人数		7・8グループ16名	担当教員	◎川野 藤岡	
ねらい		(1) 合理的な身体の使い方を知り、目的に応じた運動の仕方を身に付ける (2) 自他の運動課題を発見し、解決のため工夫したり、協力したりする。 (3) 自主的に運動し、卒業後も運動に親しむ意欲、態度、スキルを養う。			
年間授業時数		105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育 (東洋館出版社)	
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動	通年	○ストレッチ運動・体幹トレーニング、ランニング、ヨガ等 ○集団行動 ▲特性に応じた動きをしている。	・動きごとに、キーワードを提示して、合理的に動けるようにする。	
前期	保健	2	○心身の健康について ▲ストレスマネジメントや疾病について学び、日常生活に生かすことができる。	・チェックシートを用いる。 ・具体例を挙げ、自分の生活に結び付けられるようにする。	
後期	保健	2	○パブリックとプライベート等 ▲公共の場とプライベートの区別や男女の体の違いについて	・チェックシートを用いて、確認できるようにする。 ・女子生徒には養護教諭に依頼し確認できるようにする。	
4 5	陸上競技 ダンス	16	○短距離走、運動会種目 ▲大きく力強く動き、自己の力を発揮することができる。	・カラーコーンや色ラインでコースを分かりやすくする。	
5 6	体づくり運動	15	○新体力テスト (握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げ) ▲自己の体力の状態を理解し、改善のための方策を考えている。	・各テスト項目の動きのポイントを提示し、適切に測定できるようにする。	
6 7	水泳	18	○水泳 (蹴伸び、キック、4泳法) ▲身体を大きく動かし、合理的な泳ぎができています。	・一人一人が意識できる目標を設定し、毎授業で評価をする。	
9 10	器械運動	15	○マット運動・跳び箱・平均台 ▲滑らかに動いている。技をつないで演技を構成できる。	・滑らかに動いているか、動画で確認し修正できるようにする。	
11 12	球技	18	○サッカー・バスケットボール・バドミントン・ソフトボール ▲球技の決まりや簡単なルールを守り、自主的に運動ができる。	・コート大きさやボールの大きさなど、生徒の実態に応じて適切な環境設定を行う。	
12 1 2 3	陸上競技 武道	15 4	○長距離走 ▲記録会に向けて意欲をもって活動している。 ○剣道、柔道、相撲、空手など ▲簡単な技と礼法ができる。	・毎回本人が目標設定し、自己評価できるようにする。	

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	職業
グループ名、人数		7.8グループ16名		担当教員	◎小倉 ○滑川
ねらい		(1) 職業について関心を持ち、将来の職業生活に関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) 体験を振り返り、自分の課題を知る。 (3) 自己理解を深め、職業生活に適応するスキルを高める			
年間授業時数	87.5 単位時間	使用教科書	ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション (日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 情報機器の活用	毎時 10分	○挨拶を通して、「切り替え」を学ぶ。 ▲授業の開始で「切り替え」ができる。 ○情報機器の活用 ▲入力方法やマナーを知る。	・挨拶を通して、授業への「切り替えり替え」ができるようにする。 ・端末を使用し、入力練習やマナーを学ぶ。	
4 5	・ガイダンス 2年生の進路学習について ・働く場所を知る	18	○2年の学習内容 ▲学習内容について見通しをもつ。 ○先輩たちの就職状況、職域、就職先を知り、実習先選択に活かす。 ▲企業・会社・事業所の違いを知り、実習先を考えることができる。	・ワークシートに記入、情報機器に入力する。 ・端末や資料を活用し卒業生情報を得る。	
6	現場実習に向けて	10	○実習に必要な書類、流れを学ぶ。 ▲書類の基本的な書き方を知り、作成することができる。	・実際に使用する実習日誌、実習生資料原本を見ながら取り組む。	
7	相談先を知る	8	○福祉課の役割について学ぶ。 ▲働く上で必要な支援、それに伴う福祉サービス、制度を理解できる。	・参考動画、資料、ホームページを作業学習の内容を通して考える。	
9	働くこととお金について知る	8	○最低賃金や給与、工賃について知る。 ○就職、退職、転職について知る。 ○社会保険、障害基礎年金について知る。 ▲働くことで生じるお金について学ぶ。	・求人票を活用する。 ・これまでのワークシートを活用する。	
10	暮らしについて考える	10	○暮らしの場について ▲グループホームや通勤寮、一人暮らし等について知る。○実習の目標を考える。	・写真やビデオ等で様子を具体的にイメージできるようにする。	
11	余暇活動について考える	10	○余暇の過ごし方を知る ▲情報機器を活用することができる。	・先輩たちの余暇の様子を紹介し考えるきっかけになるようにする。	
12	相談の仕方について考える	6	○自分の気持ちを相手に伝える方法を考える。 ▲他者に自分の考えを正確に伝えることができる。	・ロールプレイやゲーム形式にするなど、主体的に取り組めるように配慮する。	
1	働くことについて考える	5	▲仕事に向かう姿勢を整える。 ○「田無マイ・キャリアデザイン」の活用 ▲「評価」の書き方、見方を理解する。	・「評価表」と「田無・マイ・キャリアデザイン」を活用する。 ・個別に強みや弱みを確かめながら進める。	
2	将来について考える	7.5	○「生活設計」について考える。 ▲生活設計(4つの四角)について知る。	・生活設計(4つの四角)を活用する。	
3	自分の事を知る	5	○就業体験・現場実習のまとめ。 ▲「自己理解」を深める。	・「実習生資料」に加筆訂正をする。	

令和7年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	情報
グループ名、人数		7・8グループ 16名		担当教員	◎宮本 福田
ねらい		(1) 身近にあるコンピュータの基礎的な技能を身に付ける。 (2) 問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。 (3) 情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通 年	入力練習	通年	○タイピングソフトを活用し、タイピングの練習をする。 ▲ローマ字入力ができる。 ▲記録表に入力し、管理をすることができる。		・ゲームなどを取り入れ、楽しみながら学べるようにする。 ・記録を取ることで成長の様子を確認できるようにする。
4	オリエンテーション	3	○パソコンと周辺機器の操作を覚える。 ▲興味をもち、積極的に取り組む姿勢がある。		・一人一台のパソコンを使用する。
5 6	情報通信ネットワークとデータの基本	7	○アプリの使い方に慣れる。 ▲アプリにログインし、データのやりとりをすることができる。		・操作の様子をプロジェクターで視覚的補助する。 ・プリントを用意し、分からないことを各自で確認できるようにする。
7	情報モラル	3	○SNSでの情報モラルについて考える。 ▲SNS上でのトラブル等を知ることができる。		・SNSの投稿の実際例を示して伝える。
9 10 11	情報通信ネットワークとデータの活用	10	○アプリの使いいろいろな活動を行う。 ▲アプリを使用し、課題を行うことができる。		・操作の様子をプロジェクターで視覚的補助する。 ・プリントを用意し、分からないことを各自で確認できるようにする。
12	情報モラル	3	○情報に関する身近な法規やマナー、モラルについて考える。 ▲情報の正しい活用方法を考えることができる。		・タブレットを使用して、ニュースなどを調べる。
12	情報社会の問題解決	3	○情報リテラシー ▲インターネットからの情報の真偽を見分ける基礎を学ぶ。		・SNSの投稿の実際例を示して伝える。
1 2	情報活用能力「プログラミング学習」	6	○プログラミング的思考 ▲ロボットへのプログラミング入力を通して、プログラミング的思考を身に付ける。		・理解しやすいタブレット端末のアプリを活用する。
3	コミュニケーションと情報デザイン	3	○リモート通信技術の基礎を学ぶ。 ▲リモート通信アプリの使用ができるようになる。		・図解マニュアルで視覚的に伝える。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	家庭
グループ名、人数		7、8グループ 16名	担当教員	◎横山、杉山	
ねらい	<p>(1) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたいことを実現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ家庭		
月	単元(題材)名	指導数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通	住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	毎時	○掃除・ごみの分別 ▲正しく分別することができたか。	・被服室、調理室ごとに掃除の手順やごみ箱等を分かりやすく表示する。	
4	布を用いた製作	4	○刺し子を用いた「エプロン製作」 ○刺し子 ▲糸の長さを測り切ることができる。 ▲針に糸を通すことができる。(糸通し使用)	・実際に正しい方法を師範する。 ・作品の出来上がりをイメージできるように、完成品を提示する。	
5		6	▲縫っていく方向を覚え、印通り正しく縫う。 ○ミシン掛け	・縫い方や縫う方向等、生徒の実態に応じて印をつけて示す。	
6		8	▲返し縫いの方法を覚え、始めと終わりに行うことができる。 ▲縫う印をよく見て直線縫いをすることができる。	・返し縫いの手順を視覚的に示す。	
7	家庭生活 日常食の調理 (修学旅行関連)	6	○家庭生活での役割 ▲家庭の仕事を知り、やってみようと思う。 ○郷土料理を知り、作ろう ▲郷土料理に興味を示そうとする。	・自分の生活と照らし合わせて具体的に考えられるようにする。 ・地方による調理法の違いについて提示する・実際に食材を見る、触れる等提示する。	
9	布を用いた製作	6	▲基本的な調理道具の扱い方や調味料の計量ができる。 ○刺し子を用いた「エプロン製作」 ▲刺し子・ミシンがけ共に同上	・刺し子・ミシンがけ共に同上。	
10	布を用いた製作	10	○刺し子を用いた「エプロン製作」	・刺し子・ミシンがけ共に同上。	
11		6	▲刺し子・ミシンがけ共に同上		
12	日常食の調理	6	○簡単な1品料理をつくる。	・一つ一つの手順や方法が分かりやすいように手本や図や動画で示す。	
1		6	▲基本的な切り方を知り、実践できる。		
2		8	▲安全で衛生的に調理を行う。		
3	衣類の手入れや服装のマナー	4	○衣類の手入れの仕方を知る。 ○服装のマナーを知る。 ▲洗濯やアイロンがけができる。 ▲場面や場所に合わせた服装のマナーや装い方、服の選び方を知る。	・実際に洗濯機やアイロンを使って理解を促す。 ・外部の専門家による服装についての講習を設定し、理解を促す。	

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 65名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しまう	6	○学年オリエンテーション (2年生の授業や行事を知る) ○学級目標決めと整理清掃活動 ○個人目標決めと整理清掃活動 ○係活動決めと整理清掃活動 ▲2年生の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるよう教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 ~ 3	学級で活動しよう	15	○学級活動(体育学習発表会・校外学習・文化祭・現場実習などの活動の理解、準備反省)と清掃活動 ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意思や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすきようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
6 7	修学旅行について	4	○修学旅行について理解する ▲行程を具体的に知る。 ▲宿泊先や見学先の活動内容を知る。	・視覚教材を利用したり、選択肢を示したりして理解しやすくする。	
9 10 11 12	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備と清掃活動 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の枠割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	2年生のまとめ	2	○学級目標反省と整理清掃活動 ○個人目標反省と整理清掃活動 ○係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気づき、尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数	S・O類型 62名		担当教員	B、C、D、E、F、G、H、I組担任	
ねらい	(1) 行事の準備を通して内容を知り、目標をもって意欲的に活動する。 (2) 季節行事に関わる活動を通し、日本や外国の文化に触れる。 (3) 行事等の事後学習を通してできたことを振り返り、自信をもつ。 (4) 社会人になるための準備として、様々なことを経験する。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	学校生活に慣れよう	2	○授業内容や行事について知る ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	5	○体育祭の事前・事後学習 ▲参加種目を意識して活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。	・体育の学習と関連をもたせて指導する。	
6 7 9	世界の国を知ろう	3	○外国人講師との交流を通して、外国の行事や文化を知る。(ALTによる学習) ▲関心をもって外国人講師と交流することができる。	・興味関心のある題材を使用し、外国人講師に自国の特徴や日本との違いを話してもらおう。	
	校外学習に行こう	4	○校外学習の事前・事後学習 ○校外を集団で安全に移動する。 ▲行事の内容を知り、意欲を高める。 ▲マナーやルールを守り行動できる。	・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。	
	修学旅行へ行こう	6	○修学旅行の事前学習 ○校外の安全な歩行 ▲行事に見通しや期待感をもつ。 ▲マナーやルールを守り歩行できる。	・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。	
10 11 12	文化祭を成功させよう	6	○文化祭の事前・事後学習 ○友達と協力しての道具制作を行う ▲自分の役割を意識して活動できる。 ▲友達と協力して製作する。	・イメージがもてるよう視覚教材を使用する。 ・他の教科と関連をもたせて指導する。	
1	選挙の仕組み	3	○投票の流れの練習 ▲選挙の投票所での流れを知る。	・視覚教材や実物に近い教材を使用する。	
2	長距離走記録会に向けて	3	○長距離走記録会の事前・事後学習 ▲記録会の内容を知り見通しをもつ。		
3	卒業式にむけて	3	○卒業式の内容を知りイメージをもつ。 ○儀式にふさわしい行動を学ぶ。 ▲落ち着いて儀式に参加することができる。		
				・式の流れについて視覚的教材を用いて、見通しをもちやすくする。 ・落ち着いて参加できるように繰り返し行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	65名		担当教員	2年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・国際文化 ・芸術 ・スポーツ ・環境	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
5		3	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
6		4	○生活に身近な情報の入手方法等を調べる。		
7		3	○地域の外国人とその人たちが大切に行っている文化や価値観について、調べたり、体験したりする。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
9		3	○日本の伝統文化を調べたり、体験したりする。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
10		4			
11		4	○ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3			
1		3	○地域の自然環境や環境問題について調べたり考えたりする。	・問題意識をもち情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
2		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
3		3	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。 ▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	ビジネスチャレンジ班 16名		担当教員	清掃 ◎藤代 事務補助◎川野 喫茶接客◎藤岡	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使用方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	332.5 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3.5	○作業のルール、目標を確認する。 ▲作業班の約束を意識しているか。	・視覚支援を行い学習の効率化を図る。	
5 6 7 9 10 11	清掃 ・資機材の実践的な扱い方 ・校内清掃 事務補助業務 ・校内受注業務 ・定期作業 喫茶接客業務 ・校内カフェサービス ・接遇マナー研修 ・仕入れ、在庫チェック	308	○校内の清掃（教室・廊下・窓） ▲隅々まで丁寧に作業しようとしている。 ○各種資機材の正しい扱い。 ▲資機材を安全に扱っている。 ○作業を知り、作業技術を取得する。 ▲シュレッダー、裏紙作成、押印、用紙補充、入力業務を行えるか。 ○ビジネスマナーを身に付ける。 ▲自ら挨拶・報告・連絡・相談を行う。 ○カフェ営業による厨房、接客業務 ▲報連相を意識して、自ら進んで活動する。 ○マニュアルに基づいた業務を行う。 ▲衛生に気を付けて、接客ができる。 ○自ら在庫を点検票に記入する。 ▲点検票に正しく記入できる。	・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・各事務機器の絵カードマニュアルを使い操作する。 ・報告チェック表を作成する。 ・絵カードやマニュアルを使い手順を提示する。 ・衛生管理についてチェックシートを用い、徹底する。	
1 2 3	清掃 ・清掃技能検定練習 喫茶接客業務 ・外部での作業製品販売 ・喫茶接客サービス技能検定練習		○清掃技能検定 ▲正しい手順を理解し実践している。 ○外部施設で飲み物・作業製品を販売する。 ▲笑顔、言葉遣い、姿勢に気を付けて接客を行っている。 ○検定のDVDを見て検定の流れを覚え練習する ▲上位級を目指し練習しているか。	・検定用DVDを活用しながら実践を行う時間を設ける。 ・自信のある工程を任せる。 ・役割分担、指示書、写真カードを提示する。 ・教員による見本を示す。	
	現場実習 (10月～12月)	21	○現場実習において就労に見通しをもつ。 ○校外での清掃 ▲礼儀正しく挨拶できる。安全に作業できている。 ○清掃技能検定 ▲正しい手順を理解し実践している。	・しおりを使い事前学習を深めていく。 ・手順表を簡潔に表記する。 ・身だしなみチェック表を準備する。	